

訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第46号

発行年月 2023年9月
発行所 岡山県訪問看護ステーション
連絡協議会
〒700-0805 岡山市北区兵団4-39
岡山県看護研修センター3階
TEL086-238-6688・FAX086-238-6681
http://okayama.houmonkango.net/
E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
発行責任者 菅崎仁美

就任ごあいさつ

一般社団法人

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 菅崎仁美



この度、会長に就任いたしました岡山県看護協会立訪問看護ステーションで事業統括をしています菅崎仁美です。

前江田会長は訪問看護の経験を活かされ実情に応じた事業の展開、訪問看護ラダー別教育プログラムを作成し質の標準化に取り組み、自律した協議会へと組織化されました。

今、超少子高齢社会という経験したことのない社会が迫り、更に自然災害や新興感染症もあり訪問看護のあり方も変化せざるを得ない状況にあります。また、地域の施設数の差異や小規模事業所による組織力の低さ、専門性の向上などの課題を抱えています。このような課題に対し皆様と一緒に取り組んでまいりたいという思いです。県民の皆様により良い訪問看護を提供することをめざして、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

若林教育基金



令和5年6月10日(土)に若林敏子様をお招きし、理事会にて選考された4人の方に教育資金を給付しました。

若林敏子様(元岡山県看護協会会長、元岡山県訪問看護ステーション連絡協議会会長)からの寄付金を財源とし、訪問看護ステーションの看護職の質の向上を図るため、専門看護師・認定看護師・特定行為研修等の受講時に教育資金(1人20万円:10人限定)を給付します。

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会と 岡山県看護協会訪問看護総合支援センターの協働

岡山県看護協会訪問看護総合支援センター
センター長 江田純子

岡山県訪問看護総合支援センター(2020年4月設置)は、県内の訪問看護ステーションの連携機能を強化し、訪問看護サービスの安定した提供体制を確保するため、経営支援・人材確保・訪問看護の質の向上を目指しています。2019年、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会と実施内容を整理し、役割分担を明確にし、県を含めた3者が協働しながら県内の訪問看護を推進しています。協議会は、訪問看護の普及啓発や訪問人材の確保、質の向上に関する内容を担っています。

さて、2023年8月には訪問看護事業所数は221か所と急増している状況です。地域内の事業所間の連携・協働により、在宅療養者や家族のニーズに応じた看護実践、平素からの協力体制の整備により災害や感染症への対応力も増し訪問看護事業を継続することができ、在宅療養者が住み慣れた地域で暮らし続けることができます。

貴会員の皆様は、訪問看護総合支援センターの活用について運営経営支援・人材確保・人材育成、質の向上、他事業所・関連機関との連携を挙げておられます。当センターでは開設支援、新任訪問看護師育成、プリセプター支援、地域部会の活動、相談対応等により、訪問看護の推進に取り組んでいます。

株式会社オカイ・メディカル・ファーマシー おかやま薬局 専務取締役 新留 香二

おかやま薬局は岡山県内に13店舗（岡山市8店舗、倉敷市2店舗、総社市2店舗、赤磐市1店舗）展開している薬局です。処方箋調剤のみならず、在宅医療にも対応できる体制を整えています。地域包括ケアシステムにおいてチーム医療の一員として機能すべく、患者宅や高齢者施設に出向き、医薬品の管理や正しい服用方法の指導、患者様が服用しやすい方法の提案など、経験豊かな薬剤師が対応いたします。また、薬局内でのフレイルチェックや、地域に出向いて出前お薬教室を実施するなど、地域にとって頼られる薬剤師・薬局となることを目指しています。薬の服用で困っていることなどあればお気軽にご相談ください。よろしくお願いたします。

賛助会員
からの
メッセージ

株式会社いのうえ 代表取締役社長 井上 峰一

株式会社いのうえ総合葬祭式場エヴァホール、家族葬のファミリエのブランド名で岡山県にグループで19ヶ所のホールを運営しています。お陰さまで地域の皆さまに育てられ2023年に創業百十年を迎えることができました。これまで守り続けてきたゆぎない信頼と質の高いおもてなしは勿論、儀礼文化の担い手として「心の時代」の使命と責任を果たしてゆきたいと思えます。訪問看護ステーション連絡協議会様には、より一層のご活躍を祈念し、共に連携して地域の皆さまへの支援の輪を広げてゆけたらという思いです。

ともにあかいわ訪問看護ステーション（東備）

管理者 安留 順子

はじめまして、ともにあかいわ訪問看護ステーションです。当ステーションは、岡山市にあるヘルパー事業所、居宅介護事業所、岡山市に開業する訪問看護ステーションに続いて、令和4年12月1日に赤磐市に開業。

岡山市、東備エリア（赤磐市、瀬戸内市、備前市、和気町）を中心に訪問させて頂いています。

スタッフは、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、社会福祉士、事務員、20代から60代まで幅広い年齢層で、一般科、精神科、行政機関等の経験豊かなスタッフが、それぞれの持ち味を支援に活かし、スタッフ間の連携を密にして、お互いがサポートしながら支援の幅を広げています。

開業して半年あまりたちますが、利用者様の多くが精神疾患をお持ちの方です。

自宅に引きこもり、地域の中で孤立している方、自力で通院することが困難となり治療が中断している方、未治療の方、80、50問題に直面している方……。ご利用者様の生活歴や背景は様々で、それらを紐解きながら、丁寧に向き合っていく事を心がけています。

利用者様が地域で生活しやすいよう、微力ながら地域づくりにも貢献出来たらと思います。どうぞよろしくお願いたします。

訪問看護ステーションココエル 岡山（岡山B）

管理者 井上 美樹

訪問看護ステーションココエル 岡山は令和4年12月に岡山市中区平井に新設致しました。

一人ひとりの『なりたい自分に』を応援しますという理念のもと当事業所では発達障害(精神)や医療的ケア児、看取りまで幅広く受け入れをしています。勿論、ご家族様の支援もしており、ご本人様やご家族様の意思を尊重しライフスタイルにあった看護を提供できるように頑張っております。

365日24時間体制で皆様のニーズに添えるサポートを提供いたします。よろしくお願いたします。

新設のステーション紹介

はちみつ訪問看護ステーション（岡山A）

管理者 小野 圭子

昨年の12月に開設した、はちみつ訪問看護ステーションです。事務所は新保にあり、岡山市南区がエリアです。企業理念は「優しくあれ」「誠実であれ」です。これはご利用者さんだけでなく、はちみつで働くスタッフにも快適な職場であることを目指して決めました。平均年齢が50代のおばちゃんばかりのステーションですが、自分たちが経験してきた子育てや看護、親の介護の経験を生かし、日々頑張っています。地域の皆様の看護や介護に関するお困りごとを一緒に悩みながら、新しい提案が出来ればいいなあと思っています。Tシャツが制服ですが、左胸にミツバチマークのロゴがついていたら私達です。お気軽にお声掛け下さい。

瀬戸内市訪問看護ステーション（東備）

管理者 片山 園子

この度、令和5年3月に瀬戸内市に開設させて頂きました。私たちは「住み慣れた場所でいつまでも」を理念として利用者様に、自分らしい生活が送れるようお手伝いをさせて頂きます。

自分らしさを支えるという責任を感じながら、ひとりひとりの利用者様とのお縁を大切に、そばに寄り添い安心と優しさをお届けできる看護を目指しています。

訪問看護を利用して良かったと思って頂けるよう、利用者様やご家族様の人生に関わる事を幸せに感じながら感謝の心を忘れず、日々精進していきたいと思えます。

まだまだ未熟ではありますが、先輩方のご指導ご鞭撻を頂きながら成長してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

各委員会の取り組み



●訪問看護ステーションなないろ
スタッフ手作り作品

「研修委員会の取り組み」

委員長 平田 文子

少子高齢化がますます進み、その状況に 대응できるように次々と新たな訪問看護ステーションが立ち上がっており、訪問看護師の資質が問われるようになってきています。

WEB上では様々なコンテンツもあり技術や知識習得が通信で会得できるようになってきてはいますが、訪問看護ステーション連絡協議会では訪問看護師に求められる資質を岡山県で独自に精査、作成したクリニカルラダーを用いて段階的にしっかりと習得して頂けるよう毎年研修の在り方や進め方を検討しています。皆様が参加したい、学びたいと思って頂ける研修となるよう努めてまいりますので、ご参加、ご協力をお願い申し上げます。

「課題検討委員会の取り組み」

委員長 末延 美佳子

課題検討委員会は、訪問看護ステーションが関わる共通の課題を検討し、訪問看護事業の運営の安定を図ることを目的に活動しています。

主に管理者カフェ、多職種交流会を企画・運営を行っています。

管理者カフェでは管理者が抱える課題、多職種交流会では多職種を理解しながら、連携についての課題など、それぞれに情報共有・意見交換ができる場となるよう努めています。

また、新規開設のステーションも増える中、ラダーの運用、事業所評価など、質向上に向けた活動にも携わっています。

引き続き、皆様とともに課題解決に向け取り組んで参りますので、ご参加よろしく願いいたします。

「広報委員会の取り組み」

委員長 河原 麻耶

広報委員会では

- ①会員に向けて、広報誌やHPを含むソーシャルネットワーキングの充実を検討・実施し連絡協議会の活動と取組みの情報共有ができる広報発信を強化
- ②医療機関や多くの医療者、住民に向け協議会活動を含む訪問看護活動内容の普及と理解、魅力の啓蒙を主に活動しています。

ここ数年はコロナ禍で思うような広報活動ができず苦慮していましたが今年度からは少しずつ外部への活動も再開できており、これからも以前のように委員会活動、延いては連絡協議会全体を盛り上げていきたいと思っております！

「マッチングプラザ2023!」に出展して

広報委員会

介護サービス博覧会中四国～マッチングプラザ2023～が6月13日(火)と14日(水)2日間にわたり、コンパックス岡山で開催されました。

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会から出展。広報委員会のメンバーと事務局が中心になり訪問看護の広報活動を行いました。当初は健康相談などで、お一人お一人に関わっていくスタイルを予定していましたが、参加者が多すぎて・・・ブースを通る参加者に訪問看護を知ってもらえるセット(パンフレット・訪問看護の内容・マップ・グッズなど)をお配りするのが精一杯でした。用意していたセット数をはるかに超え、追加し2日間で計420部を説明しながら配布しました。1日目は圧倒的にケアマネさんが多く来場、2日目は学生さんでした。対象者に合わせて、学生さんには訪問看護が体験できる用紙を配りました。420部が少しでも訪問看護の今後の発展につながりますように～。



出前講座について

のぞみ訪問看護ステーション 管理者 岸本 公子

岡山市立大元公民館主催の介護講座(全4回)のうち、第4回目を出前講座の一環で担当しました。『大切な人と自分のための介護講座～はじめての自宅介護～』と題され、・訪問看護について・介護の技術としてパワーポイントを使ってお話ししました。男女合わせて3名ずつ6名の参加者があり、介護経験のある方、現在進行形で介護を行っている方もおられる中でまず、訪問看護はどんな時に利用できるか、どのようなことを行っているかをパンフレットを使用し具体例を挙げながら説明しました。その後どうしたら人を動かすことができるのか、ボディメカニクスをかみ砕きながら皆さんにもそれぞれ動いてもらってレクチャーしました。

- アンケートでは全員から参加してよかったと答えをいただき介護経験のない方からは
 - ◆ テレビで訪問看護をみたことはあるが自分の周囲では聞かなかったのでも参考になった
 - ◆ 出来ることを見つけ生きる意味を考えたい
 - ◆ 一人で介護するのではなく訪問看護の方々の知恵を借りるようにしたい
- との感想がありました。

- また介護経験のある方からは
- ◆ 大変参考になった、実際に介護を受ける人を尊重したやり方で実際の介護に活かしたい
 - ◆ プロ並みじゃなくていいからお互いに苦なく楽な姿勢を保って介護しなければと思う
 - ◆ 本人さんの希望に極力沿いながら如何に最終を送るか勉強したい

わずか2時間ほどでしたが参加者の温かさやユーモアで盛り上がった講座でした。このような機会を通してもっと訪問看護を伝えていければいいなと思えた出前講座でした。



訪問看護あるある川柳



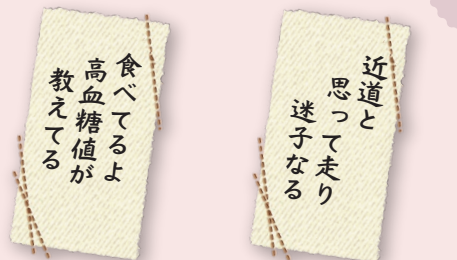
事務局より

訪問看護体験事業について

県、岡山市、倉敷市より委託され、訪問看護に関心のある看護職の方対象とした訪問看護体験事業を行っています。令和4年度は61人が活用し、25人が訪問看護ステーションへ入職されました。訪問看護を実際に体験することで、ほとんどの方が「やりがいや魅力を感じた」「訪問看護をやってみたい」と回答されています。また、事業所からは、「体験事業を活用することで、その人となりをみることができ採用に繋がった」という声も寄せられ、双方でメリットの大きな事業となっています。

事業所からのお申込みも受け付けています。採用を検討されている看護職の方へ、「まずは体験してみませんか」とお声かけいただき、当事業をご活用ください。

訪問看護師あるある川柳



訪問看護ステーション みこと しんしあ訪問看護リハビリステーション

皆様のステーションにもあるある川柳や四コマ漫画などあれば、事務局までぜひお寄せください。



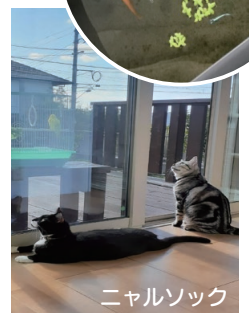
●訪問看護ステーションなないろ
毎年新年に全利用者さまに、スタッフ手作りの記念品をお渡ししています。令和5年は七福神の壁掛けを作りました。

●訪問看護リハビリステーションしん

事務所の癒し



溶けなごい



ニャルソック

水田でひと仕事(田の草取り)の後 くつろぐ鴨



編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2023年5月に5類に移行しましたがその後感染者は後を絶たない状況が続いています。感染対策が各事業所にゆだねられる様になった今、以前に増して対応方法などについて頭を悩ませることも多いと思いますが、みんなで情報共有しながら乗り越えていけたらと思います。

まだまだ残暑が続きます、皆様ご自愛ください。

広報委員一同